

こそだ ちゅう しみん みなさま  
子育て中の市民の皆様へ

ひがしむらやまし こ そだ しえん かん ちようさ  
東村山市子ども・子育て支援に関する調査

ちようさ きようりよく ねが  
～ 調査へのご協力のお願い ～

ひごろ しせい りかい きようりよく まこと  
日頃より市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

さて、平成24年8月に一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく保障することを目指す「子ども・子育て支援法」が制定され、各自治体が子ども・子育て支援のための具体的な「事業計画」を策定し、平成27年度から本格実施してまいります。

この調査は、住民基本台帳の中から小学1年生～3年生のお子さんを無作為に選び、その保護者の方を対象に調査のご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査結果をもとに、国・東京都・東村山市は、平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の計画をたて、必要な予算を確保します。保育が必要な子どもだけでなく、すべての子ども・子育て家庭を対象とした支援が含まれます。たいへん大事な調査です。

調査結果は検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の内容が他にみられたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

へいせい ねん がつ  
平成25年10月

ひがしむらやましちよう わたなべ たかし  
東村山市長 渡部 尚

かいとう ほうほう  
～ 回答の方法について ～

- とく ばあいがい あてな こ きにゆう  
1 特にことわりのある場合以外は、宛名のお子さんについて記入してください。
- かいとう えら あんない ばんごう しるし  
2 回答は、あてはまるものを選び、案内にしたがい番号に○印をつけてください。
- すうじ じかん じこく きにゆう ばあい さんようすうじ じかんせい  
3 数字で時間（時刻）を記入していただく場合は、算用数字で24時間制  
（例：午後6時→18時）で記入してください。
- せつもん かいとう かた かぎ ばあい が  
4 設問によって回答していただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きにした  
がって回答してください。特にことわりがない場合は、次の設問にお進みください。
- きにゆう す てすう どうふう へんしんようふうとう い へいせい ねん がつ にち きんようび  
5 記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて平成25年11月15日（金曜日）  
までに投函してください。（切手を貼る必要はありません。）

ちようさひよう といあわ さき ふうとう らん  
※調査票についてのお問合せ先は、封筒をご覧ください。



ひがしむらやまし こ      こそだ      し え ん じ ぎ よ う け い か く  
**東村山市子ども・子育て支援事業計画**

ちやうさひやう  
**調査票**

しょうがくせいやう  
**【小学生用】**

回答するに当たってお読みください

東村山市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

● 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

● 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着の形成（アタッチメント）（※1）を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感を築いていくこと、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感（※2）を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

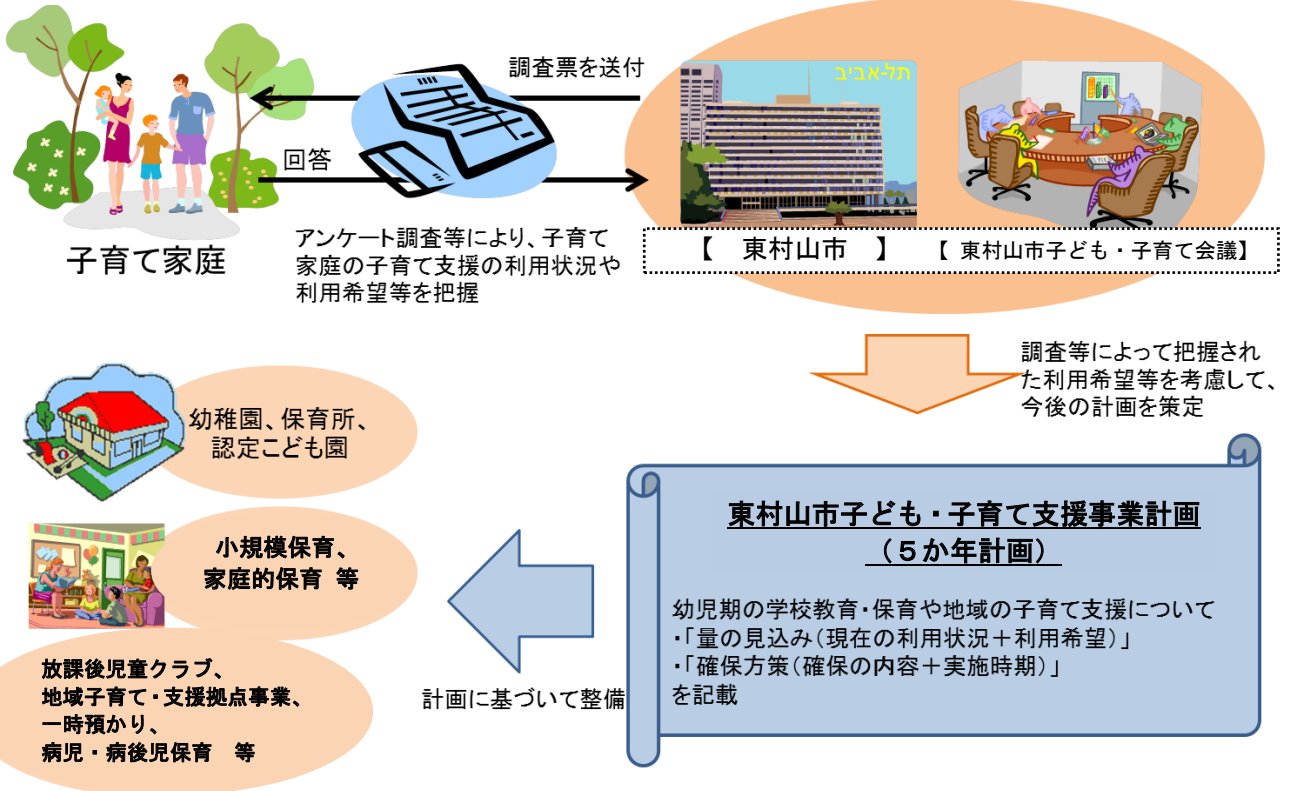
● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

（※1）愛着の形成（アタッチメント）：「この人といれば安心だ」という気持ちは、乳児期からつくられていくという意味です。この時期のおとな（親や育てる方）との出会いが人間形成の基礎を作っていきます。

（※2）自己肯定感：「自分は大切な存在だ」、「かけがえのない存在だ」と考えられる心の状態のことです。幼少期だけでなく、学童期、青年期においても大事なことです。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



用語の定義

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています





問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的・精神的な負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問10-1へ      2. いない／ない ⇒ 問11へ

問10-1 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族      | 2. 友人や知人             |
| 3. 近所の人         | 4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター   | 6. 小学校の先生            |
| 7. 塾・習い事の先生     | 8. 民生委員・児童委員         |
| 9. かかりつけの医師     | 10. 市役所の子育て関連担当窓口    |
| 11. 子ども家庭支援センター | 12. その他 ( )          |

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。



宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、  
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、  
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、  
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、  
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (1) -1へ

⇒ (2)へ

(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり  日                      1日当たり   時間

(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

※自営業などで通勤を要しない方は、「家を出る時刻」は「勤務に入る時刻」、「帰宅時刻」は「勤務を終える時刻」でお答えください。

家を出る時刻   時                      帰宅時刻   時

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、  
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、  
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、  
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、  
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (2) -1へ

⇒ 問14へ

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

1週当たり  日 1日当たり   時間

(2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)。※自営業などで通勤を要しない方は、「家を出る時刻」は「勤務に入る時刻」、「帰宅時刻」は「勤務を終える時刻」でお答えください。

家を出る時刻   時 帰宅時刻   時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが   歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態  
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）  
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）  
→1週あたり  日 1日あたり   時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが   歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態  
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）  
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）  
→1週あたり  日 1日あたり   時間

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 15 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった ⇒問 15-1 へ      2. なかった ⇒問16 へ

問 15-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。)

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
イ. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
カ. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ク. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

問 15-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 15-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。(別紙「施設・事業一覧」参照)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒   日 ⇒ 問 15-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 15-4 へ

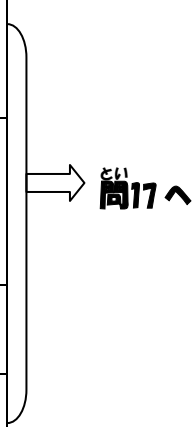
問15-5 へ



あてな こ ふていき きょういく ほいくじぎょう しゅくはく ともな  
**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴**  
 いちじあず とう りよう  
**う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問16 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

利用している事業・日数（年間）		
1. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="text"/> <input type="text"/>	にち日
2. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/>	にち日
3. ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/>	にち日
4. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/>	にち日
5. 利用していない		



問16で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問16-1 現在利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                               |                                  |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない                | 2. 利用したい事業が地域にない<br>(利用したい事業： )  |
| 3. 地域の事業の質に不安がある              | 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数などがよくない |
| 5. 利用料が負担に感じる                 | 6. 利用料等の情報がなく判断できない              |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうか<br>わからない | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない           |
| 9. その他 ( )                    |                                  |



問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	カ. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

問 18 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。⇒ア. 以外を選択した方は 問 19 へ

問 18-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------



宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校にあらがられてからの放課後の過ごし方をうかがいます。

問 19 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室（※1）	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕（※2）	週 <input type="text"/> 日くらい 下校から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。

（大袋小学校・富士見小学校・秋津小学校・青葉小学校で実施）

※2 「放課後児童クラブ〔学童保育〕」

…東村山市では、「児童クラブ」または「育成室」と呼ばれています。

保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（別紙「施設・

事業一覧」参照）

※児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 20 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

※現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	しゅう 週 <input type="text"/> にち 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	しゅう 週 <input type="text"/> にち 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	しゅう 週 <input type="text"/> にち 日くらい
4. 児童館	しゅう 週 <input type="text"/> にち 日くらい
5. 放課後子ども教室	しゅう 週 <input type="text"/> にち 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	しゅう 週 <input type="text"/> にち 日くらい げこう 下校から <input type="text"/> <input type="text"/> じ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	しゅう 週 <input type="text"/> にち 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	しゅう 週 <input type="text"/> にち 日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 21 問 19 または問 20 で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	りょう 利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	りょう 利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで

問 22 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯			
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい					
3. 利用する必要はない		<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> 時から <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> 時まで			

問 23 東村山市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い		←————→		満足度が高い	
1	2	3	4	5	

問 24 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。


調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。